マイナポータル利用規約は一般的ではない? 150以上のサービスから一般的な利用規約とは何かを調査

利用規約を分析・視覚化することで、取引上のリスクをわかりやすく把握できるようにしたWebサイト「ソーシャルペンタゴン」を運営する株式会社GiRAFFE & Co.のグループ会社のcake株式会社(本社:東京都千代田区 代表者:與那嶺裕輔)は、ソーシャルペンタゴン登録弁護士により、利用規約を解析したデータを更に解析し、一般的な利用規約とはどういう事が書かれていて、ユーザーは何に同意しているのかを免責事項にフォーカスして解析しました。

ソーシャルペンタゴンは、利用規約を「権利関係」「解除解約」「あなたの義務・責任」「事業者の義務・責任」「その他(プライバシー等)」の5つの評価ポイントで区分し、登録弁護士による解析を踏まえ、利用規約に同意する際の危険度を5段階で表示。リスクのレベルをチャート表示により直感的に把握できる、利用規約同意に特化したリスクヘッジサイトです。



※ソーシャルペンタゴンサイト (https://pentagon.social/)

10月頃からマイナポータルの利用規約における免責事項に疑問の声が上がっていることを知り、10月末にマイナポータルのレビューを当社サイトに公開しました。その際に行なったマイナポータルの利用規約におけるアンケートでは、すべて読んで理解した人は25%という結果がでました。11月初旬には追加で2名の弁護士によるレビューを掲載し、その中で後藤弁護士による解析で「事業者の義務・責任」項目の結果は極めて危険との事でした。

SNSやメディアで上がる声にはマイナポータルの免責事項では国は一切責任を取らないと取れる書き方がされているとあります。一般的なサービスの利用規約における免責事項にも一切の責任を取らない旨がかかれていますが、「故意・過失(重過失)のない限り」や「事業者の責がない限り」などの免責事項が無効になる場合もある事や、損害賠償の制限が書かれています。この文言がないことでマイナポータルに問題があってもすべてが免責される利用規約に同意させていると思われているようです。ですがデジタル庁の河野大臣はマイナポータルの利用規約は極めて一般的であるとの事でした。

当社は、当サイトに掲載されている利用規約レビューをもう一度解析し、免責事項における事業者の故意・過失(重過失)があれば免責は無効になるもの、損害賠償の範囲が定められているものを解析し、一般的な利用規約の免責事項はどの様なものが多いのかを調査しました。

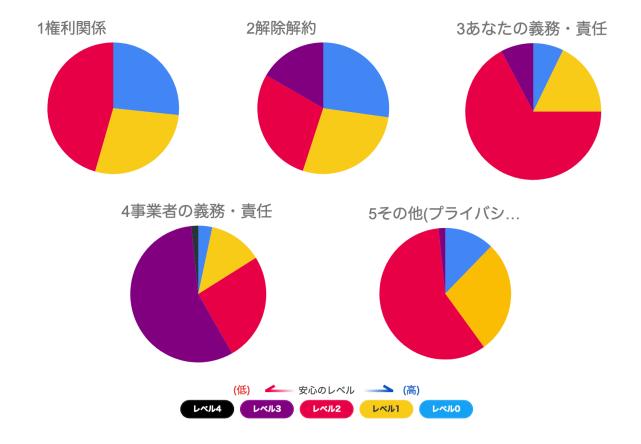




※免責事項の傾向分析

155レビューの中から故意、過失(重過失)における、免責無効への言及があったのは118件(76.1%)で、なかったものは37件(23.9%)でした。更に損害賠償の制限があるものは96件(61.9%)で、なかったものは59件(38.1%)でした。

これらの事から一般的には故意・過失(重過失)の言及、損害賠償の制限の文言があることが一般的であることが分かりました。



※利用規約の傾向分析

当サイトで掲載しているレーダーチャートの項目の中でも「事業者の義務・責任」の項目は、他の項目よりもリスクのレベルが高い傾向にあり、一般的な知識だけで判断することが難しいため、誤解して解釈されてしまっているようです。

今注目を集めているマイナポータルだけでなく、世界中に存在するサービスにも利用規約があります。注意して読まなければならないはずが理解できない、ましてや読まずに同意することの方が多いのが現実です。そんな長く難解な利用規約をソーシャルペンタゴンはわかりやすく要約することで、消費者と事業者が健全に取引できる社会を作っていきたいと思います。

【会社概要】

会社名:株式会社GiRAFFE&Co. 代表者:代表取締役 吉澤宏充

所在地:東京都千代田区神田須田町1丁目17-4F

TEL: 03-6811-6933

URL: https://giraffe-co.jp/

【グループ会社】

会社名:cake株式会社

サービス名:ソーシャルペンタゴン代表者:代表取締役 與那嶺裕輔

所在地:東京都千代田区神田小川町3丁目28-5axle 御茶ノ水

URL: https://pentagon.social/about/

E-Mail:info@cake.social

担当者:村元